

若年認知症に関する調査 【地域包括支援センター票】

Q1 平成18年4月から平成18年10月末までで、満65歳未満の若年認知症の方に関する貴センターの対応等について、以下の設問別に件数を記入して下さい。

Q1-1 地域包括支援センターが関わった若年認知症のケースについて、実件数を記入して下さい。

地域包括支援センターが関わった若年認知症のケース	件
--------------------------	---

Q1-2 上記のケースを、どのように把握したかについて 把握経路について実件数を記入して下さい。

(複数の経路から把握した場合には、把握の契機(きっかけ)となったものを1つ選んで下さい)

本人から	件	家族から	件
介護支援専門員から	件	介護サービス事業所から	件
民生委員から	件	日頃の訪問活動から	件
医療機関から	件	その他	件

上記のうち、平成18年3月以前からの継続ケース	件
-------------------------	---

相談や紹介の主な内容を具体的に記入して下さい。

Q1-3 相談・紹介を受けた方について、認知症の日常生活自立度別の人数を記入して下さい。

	人		人		人
M	人	不明	人		

Q1-4 相談・紹介を受けた方について、疾患別の人数を記入して下さい。

アルツハイマー病	人	前頭側頭変性症 (ピック病含む)	人
脳血管認知症	人	レビー小体病	人
その他の疾患 1	人	精査中 (診断に至っていない場合を含む)	人
把握していない	人		

1 「その他疾患」の場合の具体的な疾患名を記入して下さい。

Q1-5 相談・紹介を受けた方が利用している介護保険サービス等について、サービス等の項目ごとに その利用人数を記入して下さい。

(1人が「通所介護」と「短期入所」を利用した場合には、通所介護にも短期入所にもカウントして下さい)

通所介護	人	グループホーム	人
訪問介護	人	小規模多機能型居宅介護	人
短期入所(生活・療養)	人	居宅療養管理指導	人
福祉用具貸与	人	医療機関に相談	人
その他	人		

「その他」の場合の具体的な内容を記入して下さい。

Q1-6 相談・紹介を受けた方について、障害者手帳の状況について、件数を記入してください。

手帳を持っている	件	手帳を持っていない	件
申請中	件	把握していない	件

Q1-7 相談・紹介を受けた方について、どのような対応をとったか、あてはまるものすべてについて 件数を記入して下さい。

(1人に対して複数の対応をとった場合には、その両方にカウントして下さい)

医療機関に連携をとった	件	介護サービス事業所に連携をとった	件
居宅介護支援事業所に連携をとった	件	他の行政機関と連携をとった 1	件
訪問指導・面接・助言を続けている	件	何もできなかった 2	件
家族会を紹介した	件	その他 3	件

1 「他の行政機関と連携をとった」の場合は、連携先の行政機関を記入して下さい。

2 「なにもできなかった」の場合は、具体的なその理由を記入して下さい。

3 「その他」の場合の具体的な対応を記入して下さい。

Q1-8 若年認知症に関する相談を受けた場合等に、ご自身(地域包括支援センター)が相談する先はありますか。

(あてはまるものに を入れて下さい)

相談先あり		なし	
-------	--	----	--

「あり」の場合	本人のかかりつけ医		認知症センター等 1 または 専門医療機関	
	市町の担当課・者		その他 2	

1 「もの忘れサポートセンターしが」は、認知症センター等に含みます。

2 「その他」の場合の具体的な相談先を記入して下さい。

--

Q2 若年認知症の方への対応全般について、以下の設問に従って記入して下さい。

Q2-1 相談業務等の対応にあたって、困難な点は どのような点ですか。

--

Q2-2 不足している支援や仕組みは どのようなものとお考えですか。

--

Q2-3 地域包括支援センターが相談業務を行ううえで、必要な支援はどのようなものとお考えですか。

--

センター名: _____ 地域包括支援センター

記入者名 : _____